

### 3 港区における

# 小学校の現状と課題及び再編案について

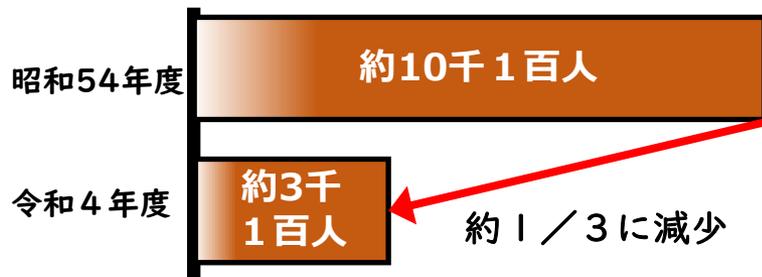


# 港区における小学校の現状



## 1. 港区全体の状況

港区内の大阪市立小学校の児童数



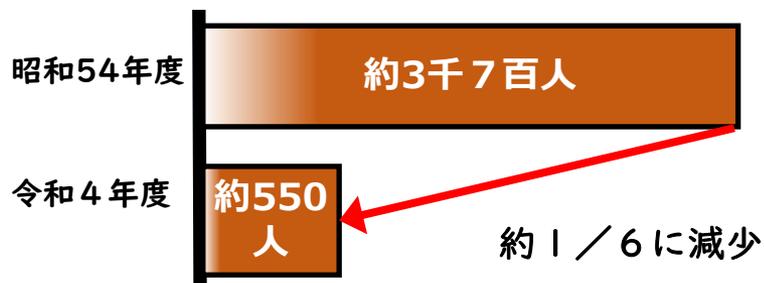
港区内の大阪市立小学校の学校数



➤ 小学校の小規模化が大阪市の平均よりさらに進行しています。

## 2. 港区・西部地域（八幡屋小・港晴小・池島小・築港小）の状況

港区・西部地域の大阪市立小学校の児童数



港区・西部地域の大阪市立小学校の学校数



➤ 大阪市、港区全体よりも児童数が減少しており、小学校の小規模化がさらに進行しています。

# 港区・西部地域の小学校の児童数



<令和5年5月1日現在>

	八幡屋小			港晴小			池島小			築港小		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
6年生	30	16	14	27	15	12	12	3	9	25	10	15
5年生	27	19	8	31	21	10	21	12	9	18	8	10
4年生	27	14	13	19	8	11	19	13	6	18	8	10
3年生	26	10	16	28	14	14	14	10	4	19	8	11
2年生	30	20	10	17	9	8	12	6	6	19	13	6
1年生	29	16	13	33	17	16	9	8	1	22	14	8
計	169	95	74	155	84	71	87	52	34	121	61	60

児童数の減は、男女別に見ると、さらに深刻な状況にある。

# 小学校の統合案（八幡屋・港晴・池島）



## 1. 3小の統合

### (1) 使用する学校

八幡屋小学校

- 通学距離、キャパシティ、校舎の築年数等を総合的に判断。

### (2) 統合時期

最短で「令和11年4月」

## 2. 築港小の存続

- 築港小は、運河を超える通学路となるため、小学生にとって、その距離と交通の安全面から問題がある。
- 特色化により、今後の複数学級化を目指しつつ、統合した3小とも連携しながら教育環境を充実させる。



# 八幡屋小の使用（案）



◎ 校舎の増築等により、早くとも令和11年度になる。



## STEP1 「運動場の一部に校舎を増築する案」

➤ 昔は児童数が多かったの  
で、計算上は入るが、現在、  
40人学級から35人学級に  
変わったこと、また、特別支  
援学級も増えていることから、  
増築が必要。

## STEP2

今後、築港小の小規模化が進行した場合は、さらなる統合を再検討する。

# 小学校の再編スケジュール（案）



R5年度

R6年度

R7年度

R8年度

R9年度

R10年度

R11年度

区担当教育次長（区長）

学校再編  
整備計画  
（案）



教育委員会

教育委員会会議  
【令和6年1月中】



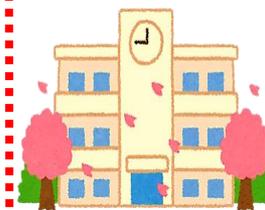
教育委員会

学校再編  
整備計画

学校適正配置検討会議

- 学校名
- 校章、校歌、標準服
- 通学路の安全対策 など

開  
校



増築及び教室改造等の  
設計・工事期間